

## 躍 進 !

あけましておめでとうございます 旧年中は大変お世話になり、有難うございました。

今年は戌歳です。犬はたくさんの子供を産むように、今までの成果が出てくる年だそうです。しかし、油断をすると大きな墓穴を掘る可能性もあるようです。一步一步しっかり地に足をつけ、皆様に信頼いただけるような仕事をしていきます。本年もよろしくお願い致します。

昨年は大手企業による釘の強度偽装による JAS 法違反に始まり、今話題の構造計算偽造まで、建設業界にとってはあまり良い年ではなかったようです。これらの背景を考えると、行き過ぎたコストダウン要求が感じられます。事業を行う以上、コストダウンは避けては通れませんが、コストダウンにはそれに見合った改善があつて初めて出来るのです。設備投資であつたり、工程、工法の改善などたゆまぬ努力なくしては出来ません。単なる目標設定による下請けいじめでは、目標は達成できません。「ジャスト・イン・タイム」(必要なときに必要なものを必要なだけ作る)という社是で世界一の自動車産業となったトヨタは日本坂トンネルの事故で部品が予定時間に届かず、ラインが止まった時に下請け業者にその保証を要求し、話題になったことがありました。しかし、その後も下請け業者が自己防衛策としてトヨタの工場近くに部品倉庫を設置することは認めませんでした。すなわち「倉庫に経費をかけるくらいならその分コストを下げろ」という事でした。徹底した下請けいじめに見えますが、一方では多品種少量生産のための生産システムや受発注システムの開発・指導によって、下請企業の育成も行って、今のトヨタ王国が確立したのです。

昨年おきた事件は、元受業者が、消費者や、協力業者の利益は考えずに、自社の利益確保だけを考え、自社のコストダウン努力(受発注システム・工程管理手法の改善 etc)を怠った為だと思えます。協力業者も実力以上の無理は続けられません。最後は仕方なく、手抜き工事をするでしょう。それをさせないだけの指導が出来なければ偽装は繰り返されるでしょう。

一方消費者が「価格破壊」という生産者無視の流通業者論理に惑わされ、「安い事が良い事だ」という間違つた倫理観を持ったこともその一因でしょう。前号でも書きましたが、「欠陥住宅を正す会」代表幹事澤田弁護士が「住宅はどんなに合理化されても手造りです。電気製品や自動車等出来上がったものを買うのとは違います。契約してから造られる物はコストに見合った材料や、手間しかかけられないのです。必要なコストは認めましょう。」と言われるように、「コストに見合った品質」の向上に努め、県産材の普及を図りましょう

### 【情 報】

#### 「新生産システム」に関する説明会が開催されます

日時 平成 18 年 1 月 12 日(木)AM10:00~11:00(南薩)、PM1:30~5:00(北薩)

場所 鹿児島合同庁舎 5F (南薩)、JA さつま 3F (北薩)

内容 林野庁 18 年度新規重点事項「林業再生のための新生産システムの確立」

問合せ先 県庁 林業振興課流域林業推進係 TEL099-286-3360

【定休日】 1 月は 1, 2, 3, 4, 8, 15, 16, 22, 29 日となります

2 月は 5, 11, 12, 18, 19, 25, 26 日となります

ご協力お願いします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)

